

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

回答数 9

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無答	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9				
	2	職員の配置数は適切であるか	5	3	1		●出勤できない職員が何人か出たときの対策を考えておく必要がある。 ●送迎の手配が困難になるときあり。送迎時の現場の職員配置が不足するときあり。 →送迎等で人手が足りない場合は、管理者・事務局の方からその都度応援を手配している。事務局と相談しながら今後の職員の増員を進めている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	2			○玄関にスロープ設置。上がり框(かまち)はとても低くなっている。 ●木の部屋の天井の照明が学習するには暗いので、明るくするかスタンドを使用するか要検討。 →木の部屋の照明については、今後の検討事項。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	6			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	1		1	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	2	5	2	●第三者委員会を設置しなければならない。 →理事長と設置に向けて相談
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9				
適切 な ま	9	面談等を適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1			●保護者との面談は行われているようだが、子どもとの面談は行われているのだろうか。 →行っている。
	10	個別支援計画を周知し、子どもと保護者のニーズや課題を理解しているか。	8	1			●保護者の話を聞く機会をもっているが、子ども一人一人の話を聞く機会をもっているのかよく分からない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	4			○利用者の意向を中心に個別に対応し、それをチームで共有するようにしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	3			○季節の行事を取り入れるなど工夫している。 ●受付カウンターの季節の飾りがいつも同じ子どもの作品のようであるが、同じ子の物にするのは何か意味があるのだろうか。他の子の作品についてはどのような扱いになっているのだろうか。 →各々の得意な分野での成果が見えるように考えている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	2		1	

× 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	4			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	4			●できる日と業務に追われできない日がある。 →翌日の打ち合わせ時に振り返りをしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	2		1	
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1		1	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1		2	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			2	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	2			
	22	（医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合）子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	3		5	●対象者無し。受け入れ無し。該当事例がない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	5	3		●間接的な情報伝達になっている。 ●相談員さんを介しての情報取得になっている。 →相談員さんとの連携を密にとるようにしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	4		5	●対象者がいない。移行した子がいない。まだ該当する事例がない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	1	1		○研修を受講している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9				
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	3	3	2	●参加を必要とする事例がない。研修の案内が来たが、時間的に参加が難しかった。 ●該当事例がないので参加していない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9				
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	5	2	1	●ペアレントトレーニングは行っていないが、必要に応じて保護者から話を聞くようにしている。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	1			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	1			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9				
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9				
	35	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	8	1			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ●方針としてはあるが、コロナ禍で行うことができない。 ●コロナ感染対策のため地域住民の招待等は控えている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	7	2		1	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者会の際にマニュアルを見せ確認してもらった。 ●感染症の対応についてコロナ対応だけでなく、ノロウイルスなどの際の感染防止の対応に不安がある。→嘔吐処理セットを用意し、職員に処理方法を周知させる。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	1			○定期的ではないが避難訓練は行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	5			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	5		3	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者の実態に応じて個別に保護者とその対応(身体拘束の有無)について相談している。 ●放課後等デイサービス計画への記載はしていないが職員間での話し合いは行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	5		2	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者を通して情報確認し、対応している。 ○医師の指示書はないが、保護者の申告により対応している。 ○長期休業時の受け入れで1名除去食を実施。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ○天候や利用者の活動に合わせて危険行為や危険な場所に対応策(立ち入り禁止表示や遊び方の連絡等)を職員で実施している。 ●事例の作成は行っているが、共有までは至っていない。

<事業所全体評価>

今回の保護者と事業所職員の評価表の結果を職員会議・定例会議で話し合うことにより、にしっ子としての課題を職員で共有しました。昨年の自己評価から1年が経過し、職員の増員、個室（ロフト、畳の部屋）・活動スペースの増設、事務室の設置等環境面での改善が行われ、保護者アンケートにも数字としてその成果が見られました。職員の配置については、今後も事務局と相談しながら計画的に増員を進めていく予定です。

反面、第3者委員会の未設置やホームページの未更新、ヒヤリハットの情報共有、感染症防止対策、身体拘束・虐待防止対策等について職員への周知徹底が図られていないなど、積み残しの課題も見られました。そうした課題への取り組みを職員間で話し合い、情報を発信していくように努めていきます。